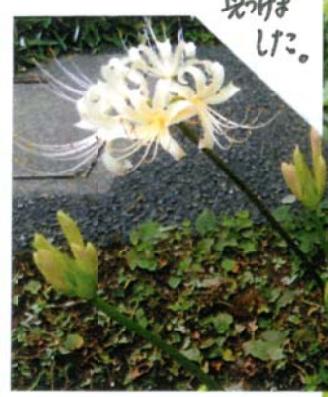




日本共产党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート
日本共产党議員団
2015.9.17 NO. 1344.
ご相談はお気軽に
TEL とも 3905-0970
FAX とも 3905-0970
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

朝夕の風が秋を運んで
きました。小さな秋…。

都営桐ヶ丘団地では、
赤や白のマンジュウゲが次々
と咲きました。アソ! 黄色も
見つけました。



○「レポート」を読んで
くださっている皆様へ。

○9/16(水) 私は今国会の前から戻ってきて、レポートをつけています。

○テレビ報道では、午後10時現在、参院安保法制特別委員会は、はじまっていませんが、最大の山場です。



「戦争法案廃案」と国会正門前の道路を埋めつくす人たち=14日夜（毎日新聞提供）

**安倍・自公政権による採決
強行に怒りをもって抗議します。**

○日本が海外で、アメリカ軍の指揮下で、戦争できる国にしようとする法案です。国民の6割以上が反対し、説明不充分の指摘は8割以上です。

これまでに経験したことのない抗議行動が連日づいています。
憲法違反

○衆参の審議の中で、はっきりしました。憲法学者も弁護士も、最高裁の元判事も、ここで、憲法違反だと指摘しています。

国民の理解をついに得られず。参院111回の審議中断。

そして、自衛隊の内部文書を明らかとなたのが――

自衛隊中枢の大暴走です。

「戦争には行かせない」「廢案にせよ!
主権者のこの声を聞け。」

2015.9.13.付 朝刊より

(第3種郵便物認可)

津波から守った息子 戦場には行かせない

東日本大震災から11日で4年半を迎えました。津波で自宅兼店舗を失った宮城県石巻市の美容師米谷康予さん（44）は先月、戦争法案反対の署名を集め始めました。息子と2人暮らしお。3・11から命がけで守った息子が『安保』の名の下に戦場に出されたら、私は法案に賛成するすべての議員を許せないと語ります。（安川崇）

あの日。地震で激しく揺れる美容院にいた3人の客を柱の多い空間に移動させ、次いで近くの中学校に避難させます。そして、6歳だった息子を引き取りに保育所に走りました。

「とにかく手元に置き、助けに戻った自宅前で

営業再開したが

かねば。自分の手で避難させなければ」。川沿いの裏道を急いで息子と一緒に中学校に避難させます。そして、6歳だった息子を引き取りに保育所に走りました。

宮城・石巻の美容師

米谷 康予さん



トレーラーハウスの美容院で語る米谷康予さん――10日、宮城県石巻市

息子が眠ってから声を押し殺して何度も泣きました。「心が折れそうになつて。でも頑張れたのは、この子に普通の生活をさせたた

仮設住宅の台所で、息子が眠つてから声を押し殺して何度も泣きました。「遠くない将来、あの子が温かい家庭を求めて時に、戦争のせいだ再び失うことがあつてはならない」。強く

対岸の友人家族は犠牲になり、当時5年生の男の子がひとり残されました。親類に引き取られましたが、今も米谷さん宅を訪れます。

戦争法案反対 署名集め

「バキバキ」というものすごい音を聞き、2階に駆け上がりました。津波の水位が増し、階段を上がった水が2階の床にサーッと広がった時は「終わった」と感じたといいます。

戦争法案をニュースで知ったのは最近のこと。子どもたちの顔が頭に浮かびました。「戦場に行くのは、この子たちだ」自分が法案に賛成する理由が、見つからな

い。「私の大切な子が戦争で傷ついたら、首相は謝るのか。賛成した議員は謝るのか。大切な人を津波や震災関連死から守れず、今を

生きている人たちの気持ちはわかりますか」先月、近くのショッピングモールで市民らによる戦争法案反対の抗議行動を見かけ、「署名の紙を下さい」と声をかけました。2週間で知人ら50人の署名を集めたほか、美容師仲間などいくつかのグループにも協力を依頼しています。

友人の子は中学3年になりました。身長180センチを超えていました。「遠くない将来、あの子が温かい家庭を求めて時に、戦争のせいだ再び失うことがあつてはならない」。強く

の男の子がひとり残されました。親類に引き取られましたが、今も米谷さん宅を訪れます。

「首相は謝るか」

だれの子どもも
ころさせない。

ママは戦争しないと決めた。
日本国民は70年間決めて実行てきた。

一針一針に思いを込めて…2年
園サトルさんの憲法ギルト

2015年9月22日(火・祝)
正午～4時まで展示
赤羽台団地内集会室
<100円>